

令和5年度 羽咋小 校長室だより



ハマナス

2月 暦の上では春号 R6. 2. 14 No. 19



立春到来！学習・生活・行事に全力投球！



2月5日（月）に、2月の全校集会を行いました。

校長先生のお話では、2月のめあて等について確認しました。1月は、学習面では「なるほど、そういうことか」「もっと、考えてみたい」など、自ら主体的に課題を解決していく本校の授業スタイル「探究パラダイス」に頑張ってきました。その際、「こんな力をつけるよ」「こんな内容を学んでいくよ」といった学習のゴールとそこに至るまでの道筋をみんなで共有する「てっぺんシート」も作成し、深い学びをめざしてきました。また、授業の始まりの場面では、「なぜ？」「どういうことかな？」などの問題意識を高め、「解決したい！考えたい！」という知的探究心を掘り起こす「ドリーム7」（授業開始からの7分程度）と、「本当にわかったぞ！」「できるようになったよ！」「今日は、こんなことを学んだよ！」「次は、こんなことを考えてみたいな！」といった学びの実感を自覚する「スマイル8」（授業の終盤の8分程度）にも取り組み、児童が自ら探究する授業が多く見られました。

その後、2月のめあてとして3点お話ししました。1点目は、毎年この時期にICT活用による説明する力を全校で育み、その成果を発表する「一人1プレゼンテーション」に取り組むこと、2点目は、なわとび大会やスポチャレなどで体力アップを図ること、そして3点目は、学級・学年・全校で力を合わせ、6年生を送る会を成功させることを確認しました。この1年間、朝の挨拶運動・ラジオ体操・貢献活動をはじめ、委員会活動やクラブ活動などでもリーダーシップを発揮してくれた6年生に、感謝の気持ちを伝え、羽咋っ子の絆が深まることを願っています。

今回は、お話の締め括りとして、3学期のテーマである「乗り越える！Smile & Best!」にちなみ、20年前に本校6年2組の担任の時に制作した学級歌「Smile & Best!～明日を信じて～」を、全校児童・教職員へのエールとして歌いました。少しずつ日常を取り戻してはいますが、まだまだ不安や困難もあります。そこにひるむことなく、その壁を越えようとチャレンジしたいものです。そんな願いを込めて、20年ぶりに歌いました。

HAKUI DREAM,PRIDE,SMILE!
のりこえる！「目の前の壁を、粘り強く乗り越える！」

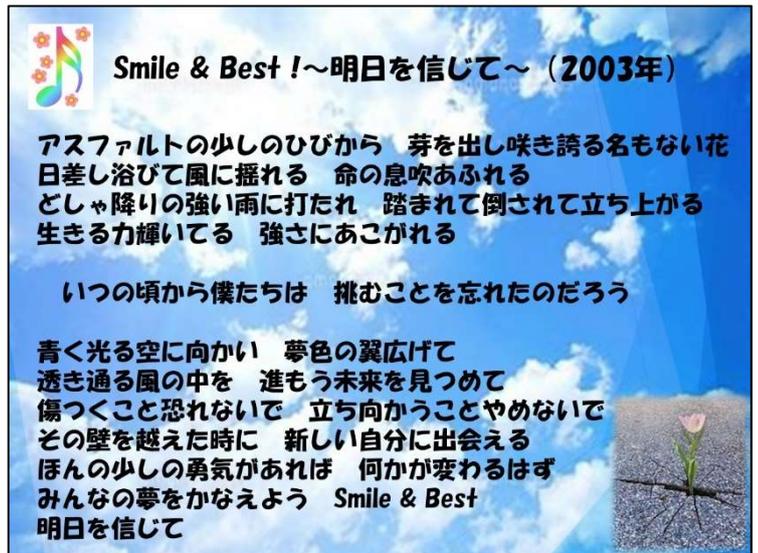
2月の「のりこえる」

- ①一人ずつ、プレゼンテーション！
・「タブレットやPCを使って、発表できたよ！」
- ②体力アップ！ なわとび&キャッチボールetc
- ③6年生を送る会で、絆UP！
・「6年生、ありがとう」「こんな姿をめざしたい」

駆け抜ける2月！乗り越えよう！

じっと見つめ、静かに聴いてくれる児童の姿が見え、あの頃にタイムスリップした気分が気持ちよく歌うことが出来ました。みんなの心に少しでも、目の前の壁を越えてがんばるぞという気持ちわいてくれたらうれしいです。

その後、生徒指導としてタブレット端末使用の際のルールとマナーについて再確認し、最後に校歌を斉唱して、全校集会を終えました。一気に駆け抜けていく2月、みんなで気合い入れて頑張っていきましょう。



Smile & Best! ~明日を信じて~ (2003年)

アスファルトの少しのひびから 芽を出し咲き誇る名もない花
日差し浴びて風に揺れる 命の息吹あふれる
どしゃ降りの強い雨に打たれ 踏まれて倒されて立ち上がる
生きる力輝いてる 強さにあこがれる

いつの頃から僕たちは 挑むことを忘れたのだろう

青く光る空に向かい 夢色の翼広げて
透き通る風の中を 進もう未来を見つめて
傷つくこと恐れなくて 立ち向かうことやめないで
その壁を越えた時に 新しい自分に出会える
ほんの少しの勇気があれば 何かが変わるはず
みんなの夢をかなえよう Smile & Best
明日を信じて

平成15年度 6年2組学級歌！教え子は30代！

伝統の公開校内研修会！先生方と学び合いました！

2月2日（金）に、本校恒例の公開校内研修会を行いました。この研修会は、長年、本校が市の基幹校として、新たな教育を見据え、挑戦してきた授業実践等を発信し、参加いただいた先生方と研修するとともに、成果と課題、改善策を明確にして、次年度の学校研究に生かすことを目的に行っています。長年継続的に行っている、本校の伝統とも言える研修会です。

まず、山岸研究主任の方から、研究の概要説明を行い、今回の授業の見所も含めて参加者に研究の柱となる部分を伝えました。その後、3年1組で国語科、6年2組で体育科の授業が公開されました。

3年1組では、羽咋小の自慢を相手に分かりやすく伝えることをめあてに、グループごとに練習し、他グループとの交流を通じて、互いにレベルアップするために学び合うという学習がなされました。話し方について、声量やテンポ、間の取り方など、気付いた点を伝え合い、早速練習に生かすという光景が見られました。

6年2組では、ソフトバレーボールを行い、チームごとに自分たちの特徴を踏まえてよりよいプレーにしていくことをめあてに、練習試合を行いながら対話を重ね、互いにアドバイスし合うという学習がなされました。試合後にネットをはさみ、お互いのよさや弱点などについて率直に話し合う姿が見られました。



研究概要説明！いよいよ公開研スタート！



既に熱気！熱心に聴き入る先生方！

その後、本校若手教員によるブース発表が行われました。本県では「若プロ」と呼ばれるメンバーで、「ドリーム7、スマイル8、てっぺんシート」「個別最適な学び、てっぺんタイム」「ICT活用」の3つのテーマに分かれ、実践報告を行いました。発表・質疑応答を7分間ずつの2セット行い、ブースを訪れる参観者と意見交換することが出来ました。若プロメンバーは、何度も協議を重ね、よりよい発表になるよう頑張ってきました。

最後に、国語科、体育科の2つの公開授業について、授業整理会を行いました。ここでも、視点に沿って熱心な協議が行われ、会場は熱気ムンムンでした。市内・県内、そして遠く北海道からも参加いただいた先生方の研究意欲をひしひしと感じました。いくつかのグループから成果と課題、今後に向けた改善点について報告がなされ、協議の状況も踏まえて、中能登教育事務所の黒崎指導主事様、中村指導主事様より指導助言をいただきました。お二人からは、本校の研究の重点に沿って、子どもの学びの姿からたくさんの指導助言をいただきました。

今回、教育委員会の先生方、市内外から多数の先生方をお迎えし、有意義な公開研を開催できたと喜んでおります。まだまだ大変な状況下ではありますが、子どものはつらつとした学びの姿を目の当たりにできたことや、その姿をもとに直接語り合うことができたことで、参加いただいたすべての皆様が元気や勇気を少しでも共有・充電していただけたのなら幸いです。改めて、多数のご参加に感謝申し上げます。ありがとうございました。



公開校内研修会 ダイジェスト!



ドリーム7! 課題の確認!



まずはグループで練習!



グループ内でアドバイス!



いよいよ交流! 廊下でも発表!



「ここを見てください!」



ここを練習してみよう!



振り返りを発表!



本番に向けて話し合い!



みんな笑顔!スマイル8!



まずは準備運動!



羽咋カッブのお披露目!



まずはチーム練習!



作戦を練る!



お互いのプレーを評価!



真剣に話し合う!



アドバイスを生かし試合再開!



みんなでレベルアップ!



優勝カッブはどのチームへ!



若フ01!D7&S8&てっぺんシート!



たくさんの参加者の中、ファイト!



若フ02!てっぺんタイム!



最適な学びを考える！



若7口3！ICT活用！



参加者から質問！



国語科授業整理会！



白熱の協議！



付箋をもとにつながる！



多様な意見で深まる！



グループ発表！



国語科の指導助言！



体育科授業整理会！



中学校の視点から意見！



視点に沿って協議！



授業者からも意見！



体育科の指導助言！



授業後も振り返り！



恒例の茶道教室！講義と実技で、和の心を知る！



2月1日（木）と9日（金）に、6年生を対象とした茶道教室が行われました。これは、卒業を迎える6年生が毎年行っている恒例の体験活動です。コロナ禍の前は、自分の家族に感謝の気持ちを伝えるために、お抹茶を点てていましたが、現在は自分で点てたお抹茶をいただきながら、和の心について学ぶ内容になっています。

まず2日（木）は、6年生全員が講師の安達さんから、茶道についての講義を受けました。亭主が客をもてなし、客は礼儀をわきまえた所作を行うことを学びました。そして、9日（金）に、クラスごとに茶道体験を行いました。はじめに、道具の紹介や説明などを聞きました。茶碗、茶杓、茶筌などスライドに示された写真をもとに、それぞれの道具の使い方などを学んでいきました。その後、お菓子とお抹茶をいただきました。普段、なかなかできない貴重な体験ができました。



着物姿で分かりやすく伝える講師！

今回も、本日のために用意されたお菓子について、その名前を考える時間がありました。毎年、市内の和菓子店に特別に注文しているお菓子です。子どもからは「桜」「春」「卒業」など、お菓子の形や色合いなどからイメージした言葉が出されました。正解は「東風」で、これは学問の神様と言われた菅原道真公が大宰府に左遷された時、京都を離れる際に歌われた短歌が由来だそうです。



茶道の精神を学ぶ！

今回も講師の安達さんには、講義資料やプレゼンの準備はもちろん、お盆やお点前の道具などを全員分用意し、特注のお菓子の手配までしていただきました。すばらしい体験学習の場を、ありがとうございました。



茶道体験学習ダイジェスト



いよいよ実技！姿勢を正します！



自分で道具を選びます！



一人一人に準備！



お菓子を褒めます！



お茶を点てます！



お菓子をいただく！



6年2組の体験スタート！



お茶を点てます！



泡立ってきました！



作法に則り、いただきます！



礼儀作法！1組のお辞儀！



礼儀作法！2組のお辞儀！

授業参観



授業参観・学校説明会！1年間の成長を披露！



2月9日（金）に、授業参観・学校説明会を行いました。今年度最後ということで、たくさんの保護者の皆様が来校されました。

授業参観では、1年生は1年間の振り返り、2年生は自分の成長を振り返ってプレゼンしました。3年生は学校自慢をグループで協力して行い、4年生は合同で長なわ8の字跳びを競いました。5年生は音楽劇「ぞう列車」を披露し、6年生は将来の夢と家族への感謝の気持ちをプレゼンしました。どの学年も、1年間の成長が感じられ、特に6年生は普段なかなか面と向かって言うことがない感謝の気持ちを素直に伝えていて、感動しました。



どのフロアも黒山の人だかり！

授業参観終了後、プレイルームにて、学校説明会を行いました。今年度、本校が掲げた目標について、達成状況や成果と課題、今後の取組について説明しました。学習面では、学力調査結果も含め、概ね良好な結果を得ましたが、一人一人の苦手な面の補充等をしっかり行い、進級・進学につなげたいと考えています。生活面では、タブレット端末を活用しての児童会活動や業務改善等にも力を入れ、効率化が図られてきました。今後も、保護者の皆様や地域の皆様、関係各位のご理解・ご協力をいただき、よりよい学校運営に努めていきます。

説明会終了後、大谷選手からのグローブも披露しました。皆さん、感激した様子で手に取られていました。

保護者の皆様、お忙しい中、多数のご参加をいただき、ありがとうございました。2月後半戦も職員一丸となって、一人一人の成長を促していきます。



主幹による学校説明！



大谷グローブを手に取る保護者！



参観日 授業参観

ダイジェスト



1の1 1年間をふいかえろう！



1の2 1年間をふいかえろう！



2の1 自分の成長プレゼン！



2の2 自分の成長プレゼン！



3の1 私たちの学校自まん！



3の2 私たちの学校自まん！



学校関係者評価委員会！学校の取組を評価！



2月8日（水）の授業参観・学校説明会とともに、第2回学校関係者評価委員会も行いました。これは、学校が「学校教育目標の達成状況や取組について評価し、組織的・継続的な改善を図る」「評価結果の公表と説明により、説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める」ことなどをめざし、実施しています。（文部科学省「学校評価の目的」より）。

本校では、保護者・地域住民・関係機関等の代表者7名から構成される学校関係者評価委員が、教職員や保護者の自己評価結果や、学校運営の状況、環境整備、地域との連携などから評価を行いました。主な評価結果は、次のとおりです。



今年度の総括！学校評価委員会！

令和5年度 学校関係者評価結果

評価の対象	評価内容	評価の着眼点	R5評価	R4評価	
学校の姿	① 学校の姿	学校の教育方針や情報などが、学校報などで保護者(地域)に分かりやすく伝えられているか。	●学校の指導方針がわかりやすいか。 ●学校の情報が、分かりやすく伝えられているか。	A	B
	② 児童・生徒の姿	学校生活において、児童は生き生きと活動しているか。	●学校行事において協力し合って活動しているか。 ●生き生きと活動しているか。	A	A
	③ 教職員の姿	教職員は、お互いに協力しながら児童の指導をしているか。また来校者に誠実な対応をしているか。	●学校行事や新型コロナウイルス感染症予防の際、協力し合って指導している場面が見られるか。 ●進んであいさつや、言葉かけをしているか。	B	A
	④ 学校の環境整備	学校内外の環境整備が行き届いており、児童が快適で安全に学校生活が送れるようになっているか。	●環境美化に対する配慮が見られるか。 ●学校全体が、整理・整頓されているか。 ●学校全体の安全が確保されているか。	A	A
授業の様子	⑤ 児童・生徒の姿	児童が学習内容を理解しようと意欲をもち学んでいる様子が見られるか。	●授業中、教師の話や友達の発表をしっかりと聞いているか。 ●学習ルールが守られ、良い雰囲気での学習しているか。	A	A
	⑥ 教職員の姿	児童が学習内容を理解できるようなわかりやすい授業であるか。	●児童一人一人に言葉かけをするなど適切な指導の工夫をしているか。 ●授業の内容が黒板にわかりやすく書かれているか。	B	B
授業以外の様子	⑦ 児童・生徒の姿	児童は、集団生活に必要なきまりや約束を守っているか。	●元気にあいさつができていますか。 ●登下校時等には、正しい服装や決まりのある行動をしているか。	A	B
	⑧ 教職員の姿	教職員は、児童の手本となる言動を行っているか。	●児童に対し、正しい言葉づかいがされているか。 ●TPOに応じた服装をしているか。	A	A
保護者・地域との連携	⑨ 教職員と保護者との関係	教職員は、保護者や地域の方と連携しているか。	●学校は、地域の活動に協力的であるか。 ●教師と保護者の関係は良好か。	A	A
	⑩ 教育活動の地域活用	学校は、地域の人材、施設、歴史、自然などを教育活動に活用しているか。	●学校は、地域の(歴史、自然)を活用しているか。 ●学校サポート体制が構築されているか。	B	A
特色ある教育活動	⑪ 市基礎学力調査	数値目標の達成に向け、具体的取組や指導法の改善が行われているか。	●結果の分析を行っているか。 ●結果を生かし工夫改善をしているか。	A	A
	⑫ 教育活性化プラン	数値目標の達成に向け、具体的取組が行われているか。	●日常的に英語を使おうとしているか。 ●ICT活用に積極的に取り組んでいるか。 ●業務改善・人材育成に向けて、業務の優先順位や時間配分などに自ら取り組んでいるか。	A	A



VR体験&AR体験も通じて、台湾を学ぶ！



2月13日（火）に、6年生が金沢星稜大学の清水先生にご尽力いただき、体験的な学習を行いました。本校は、テディベアプロジェクトで台湾の高雄市にある新甲小と交流しており、昨年11月にはオンライン交流学习も行いました。

まず3・4限目は、クラスごとにVR体験（仮想現実体験）とAR体験（拡張現実体験）をグループごとに行いました。VR体験では、交流先の新甲小学校の周辺を360度カメラで捉えた映像を専用のゴーグルを通して見ることで、まるで現地に行って歩いているかのような感覚に浸ることが出来ました。また、AR体験でも、実際に物をたたいたり、いっしょにダンスを踊ったりと、共通の空間を楽しむことが出来ました。

次に、5限目は6年生合同で、学生さんによる台湾についてのお話を聞きました。クリスマス時期に台湾を訪れ、新甲小学校を含めたいくつかの学校を見学・参観したり、台湾の観光地等を訪れたりしたことの紹介でした。台湾の小学校にはお昼寝の時間があったり、給食は準備した子からすぐに食べ始めてよかったりなど、日本との習慣の違いを感じることが出来ました。

今回も、交換留学生として教室に置かれているぬいぐるみも、児童に持たれ、しっかり学習を見つめていました。次回の交流学习も、楽しみです。



6年生合同学習！台湾を知る！

体験学習ダイジェスト！



台湾の街中を歩く！



仮想現実の世界に浸る！



とにかくダンス！ゲーム感覚！



先生もいっしょにバトル！



ダンス披露の動画！



台湾の給食メニュー！



図書委員による読み聞かせ！



2月13日（火）のきほんの時間に、図書委員による読み聞かせが行われました。今回は1組系列で行われ、図書委員は各学年に応じた電子図書を選定し、心を込めて読み聞かせをしていました。どの学級もお話の世界に浸って、静かに聞く姿が見られました。

15日（木）には、2組系列で行われます。図書委員の皆さん、頑張りましたね。



1年生「じゃない」他



2年生「やきざかなののろい」他



3年生「くろくまんとしろくまくん」



4年生「しましまジャム」



5年生「おおかみだってきをつけて」



6年生「かたあしだちょうのエルフ」



編集後記「大谷グローブが育む、親子の絆！～親子感想より～」



羽咋市教委より、大谷グローブを親子で活用する取組「親子 de キャッチボール」が提唱され、本校でも週末の貸し出しを始めています。感想用紙には、このグローブを活用する中で、笑顔になり、元気をもらえたというような内容が綴られています。一部抜粋し、紹介します。

母「震災で実家を手放すことになり、私も子供達もとても悲しい気持ちで過ごしておりました。こんな機会がなければ、娘や息子とキャッチボールをすることなんて、なかったと思います。ものすごく楽しくキャッチボールをしている姿に、私は本当に元気をもらいました。大谷選手に背中を押してもらったかのように、親子で何もかも忘れて楽しみました。」

子「私は、ボールをとったり投げたりするのは苦手だけど、大谷選手のグローブをつけると、そこは夢中になっている自分がいました。だんだん玉をとれるようになっていくうれしさと楽しさは、今でも忘れません。大谷選手、本当にありがとうございました。それに、お母さん、最高に楽しかったよ。」

母「TVで話題の大谷グローブを貸していただけるとのことで、三連休にお借りすることが出来ました。普段親子でキャッチボールをする機会がなかったので、家族みんな興味津々でした。小学生組2人の他に、中2の兄や3歳の弟も一緒になってグローブの取り合い。この寒い時期に、外へ出て遊ぶ機会も減っていたので、よい時間を過ごせました。」

子「親子でキャッチボールをして、最初はとても難しかったけれど、何回かやっていると、少しずつできるようになってきて、とても楽しかったです。そして、親子の仲を深められたなと思いました。」

大谷選手の善意が、この震災後の厳しい状況の中、心の中でエネルギー補給になっていると実感しました。親子でふれあい、笑顔で過ごす、この時間が何よりも貴重だと再確認できました。今年度も残すところ、あと1ヶ月半。ラストスパートを、頑張ります！